

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ふいーる			
○保護者評価実施期間	2024年 9月11日		～	2024年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2つの放課後等デイサービス(小学生対象事業所と中高生対象事業所)と生活介護事業所を運営しているので、切れ目なく一人の利用者様に長期間にかかわる支援が出来る	事業所間でのきめ細かい情報共有	・ライフステージ変化時の情報提供等 ・日常生活に必要なスキルを身に付けられるよう取り組みながら、卒業後を見据えた活動をしています。
2	保護者様との連携やコミュニケーションの充実	ライン、連絡帳、送迎時にその日の様子を伝える	可能な限り研修等の機会を設け、職員のスキルアップに努めています。個別の課題や支援については、半年に1度の面談時に課題に合わせたアドバイス等を行っています。また、日々のご利用者様の活動風景を、インスタグラム・会報等で発信し、活動の様子や関わりが伝わる様に取り組んでいます。

3	市内の体育館や公民館等で運動を実施	月に数回広いスペースを使い、トレーナー監修のもと、体幹トレーニング、バランストレーニングなどで身体機能の維持向上を目指し、ダイナミックに体を動かしている	必要な設備を導入する等、活動の幅を広げ、多くの経験が出来るよう取り組みます。
---	-------------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様との地域交流不足	集団活動への参加が難しいご利用者が多いため交流が出来ておりません。	安全面を考慮しながら、ご利用者様に負担が掛からないよう企画・提供出来るよう取り組んでまいります。
2	保護者会等の開催や、保護者同士での交流不足	当事業所としては、保護者様主体で、法人としての立場は後方支援と考えております。	ご相談等がありましたら、受け賜わります
3	活動のスペース不足を感じることもある	ハード面に関しては変更することが現在のところ難しく申し訳ございません	各フロアごとに分かれて活動し、支援内容及びスペースの工夫に努めています。学習グループと作業グループ、外活動と室内グループに分けて時間で交代する等してスペース確保に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ふいーる		公表日		2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	7	・2カ所以上で活動している ・1F、2Fに分けて活動を行っているため、強行の児童を優先に広いスペースを利用	・クールダウンのできる部屋が必要 ・活動内容によっては狭い	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	5		・足りないと感じる時がある ・強行の児童に対して対応する指導員の人数は足りていない	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・生活空間は利用児童に分かりやすい様になっている	・バリアフリー化	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	・活動内容に掃除の時間を入れている	・強行の児童がいる場合足りない場合がある。 ・特に2階は狭いと感じる	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	5		・スペース足りず、クールダウンは廊下や階段などとなっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・その都度ミーティング等で意見をもとに対応		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・オンライン研修を導入		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・アセスメントシート、モニタリングシートを参照し、複数名でミーティングを実施		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		・確実性に欠ける	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		・職員配置にあった活動プログラムを行っているので固定化している事もある	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		・全員揃っての振り返りは難しいので、気が付いた点等は皆が共有できるように工夫している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			・全てではないが、出来ることは行っている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		・instagramやお知らせ等を使い情報発信
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			